

## 支部ニュース

(公社) 神奈川労務安全衛生協会  
相模原支部発行  
相模原市中央区中央3-8-8  
(桐生ビル 2F)  
TEL 042-751-9396

# 令和8年度 全国安全週間を 迎えるにあたって



相模原労働基準監督署  
署長 本間 公紀

本年4月1日付けで相模原労働基準監督署長に着任いたしました本間と申します。どうぞよろしくお願いいたします

ます。

公益社団法人神奈川労務安全衛生協会相模原支部及び会員事業場の皆様におかれましては、日頃から労働災害防止をはじめとした労働行政の推進に多大なるご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

全国安全週間は、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的に、昭和3年から一度も中断することなく続けられ、今年で99回目を迎えます。

全国の労働災害の発生状況を見ると、長期的には減少傾向にありましたが、最近では高齢者の労働災害、転倒災害や「動作の反動、無理な動作」による労働災害が年々増加傾向を示しております。

相模原署管内の労働災害の発生状況について、令和7年の休業4日以上労働災害はコロナを除いて633件と前年から減少傾向にありますが、死亡災害が1件発生してしまいました。死亡災害はあってはならないものと取り組んで参ります。

今年度は第14次労働災害防止計画の4年目となります。労働者が安全で安心して働くことができる職場環境を築くためには、労使双方が労働災害防止のための基本ルールを徹底し、労使一丸となって、取り組んでいくことが求められます。

このような背景等を踏まえ、本年度は、「多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場」

をスローガンに全国安全週間が展開されます。

この安全週間を契機として労働災害防止の重要性について認識をさらに深めていただき、引き続き職場における自主的安全管理活動の定着が図られますようお願いいたします。

結びになりますが、貴支部及び会員事業場の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、私からの御挨拶とさせていただきます。

## 第99回 全国安全週間

### 相模原



本週間

7月1日⇒7日

準備期間

6月1日⇒30日

「多様な人材 全員参加

みんな育てる安全職場」

## 労働基準監督署 からのお知らせ

### 労働災害発生状況について

令和7年の相模原労働基準監督署管内における労働災害発生状況（暫定値）を取りまとめました。

これは、令和7年1月1日から令和7年12月31日までに当署管内で発生した休業4日以上労働災害に基づき提出された労働者死傷病報告の受理件数について、統計を作成するに当たっての締切日を設け、統計数値として確定させたものです。

当署管内における令和7年の労働災害による死傷者数は新型コロナウイルス感染症を除くと633人で、前年（701人）に対して68人（9.7%）の減少となり、死亡者数は1人で、前年（4人）に対し3人の減少となりました。

相模原労働基準監督署では令和5年度から令和9年度までの5年間を期間とする第14次労働災害防止計画（以下「14次防」という）を策定しており、この14次防の目標は以下のとおりとなっており、目標に対する各年の結果は下図のとおりとなります。

今年度は14次防4年目となり、残り2年となりました。

死亡災害はもとより、労働災害はあってはならないものであり、各事業場におかれましては、より一層の労働災害防止への取組をお願いいたします。

また、神奈川労働局では、労働災害防止対策の実態を把握するためアンケートを実施させていただいております。

下記アドレス又はQRコードからアクセスいただき、アンケートに御回答いただくようお願い申し上げます。

なお、アンケートは令和8年4月1日から令和9年3月31日までの期間に1回だけの御回答をお願いするもので、2回目以降の御回答は不要です。

本アンケートページのアドレス

<https://jsite.mhlw.go.jp/form/pub/roudou14/dai14jibou>

※アドレスのQRコード



### 計画の目標

当署管内の事業者、労働者、当署等の関係者が一体となって、一人の被災者もださないという基本理念の実現に向け、アウトプット指標及びアウトカム指標の達成を目指す。これらを達成した場合、労働災害全体としては

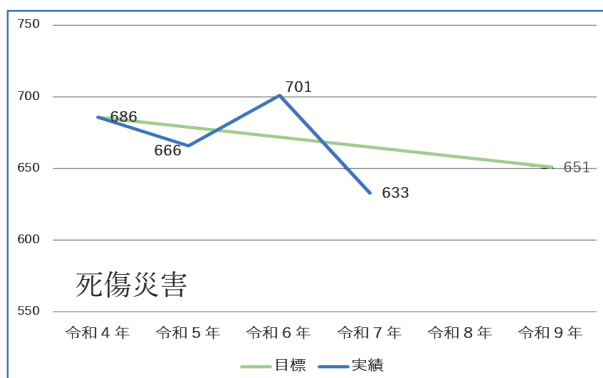
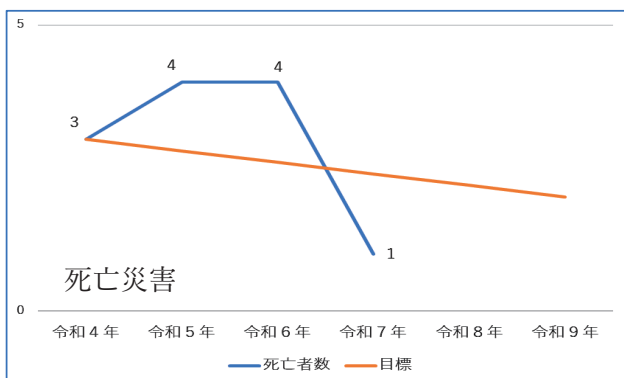
▶令和9年までに、相模原地区の労働災害による死亡者数を5%以上減少

▶令和9年までに、相模原地区の労働災害による死傷者数を5%以上減少

に転ずることが期待され、本計画では以下の目標を設定し推進します。

【令和4年（比較基準年）：死亡者数3人、死傷者数686人】

【令和9年（最終目標）：死亡者数2人以下、死傷者数651人以下】



令和7年 労働者死傷病報告受理状況

相模原 労働基準監督署  
(令和8年3月末現在)

業種	当年 (令和7年)	前年同期 (令和6年)	増減数	増減率
01 食料品製造	44	48	-4	-8.3%
02 繊維工業				-
03 衣服その他の繊維				-
04 木材・木製品		2	-2	-100.0%
05 家具・装飾品				-
06 パルプ等	5	7	-2	-28.6%
07 印刷・製本				-
08 化学工業	6	10	-4	-40.0%
09 窯業土石	7	1	6	600.0%
10 鉄鋼業		1	-1	-100.0%
11 非鉄金属	1	1		
12 金属製品	14	8	6	75.0%
13 一般機械器具	6	10	-4	-40.0%
14 電気機械器具	5	7	-2	-28.6%
15 輸送機械製造	13	9	4	44.4%
16 電気・ガス	6	1	5	500.0%
17 その他の製造	12	14	-2	-14.3%
01 製造業小計	119	119		
02 鉱業小計				-
01 土木工事	6	12 (2)	-6 (-2)	-50.0%
01 鉄骨・鉄筋家屋	4	6	-2	-33.3%
02 木造家屋建築	2	7	-5	-71.4%
03 建築設備工事	2	3	-1	-33.3%
09 その他の建築工事	12	24	-12	-50.0%
02 建築工事	20	40	-20	-50.0%
03 その他の建設	14	10	4	40.0%
03 建設業小計	40	62 (2)	-22 (-2)	-35.5%
01 鉄道等	1	2	-1	-50.0%
02 道路旅客	13	19	-6	-31.6%
03 道路貨物運送	80	88 (2)	-8 (-2)	-9.1%
04 その他の運輸交通				-
04 運輸交通業小計	94	109 (2)	-15 (-2)	-13.8%
01 陸上貨物	26	36	-10	-27.8%
02 港湾運送業				-
05 貨物取扱小計	26	36	-10	-27.8%
06 農林業小計	7	4	3	75.0%
07 畜産・水産業小計		1	-1	-100.0%
01 卸売業	11	9	2	22.2%
02 小売業	79	104	-25	-24.0%
03 理美容業	3	1	2	200.0%
04 その他の商業	23	18	5	27.8%
08 商業	116	132	-16	-12.1%
09 金融広告業	2		2	-
10 映画・演劇業				-
11 通信業	6	11	-5	-45.5%
12 教育研究	5	5		
01 医療保健業	24	23	1	4.3%
02 社会福祉施設	74	75	-1	-1.3%
03 その他の保健衛生	3	1	2	200.0%
13 保健衛生業	101	99	2	2.0%
01 旅館業	5	2	3	150.0%
02 飲食店	43	27	16	59.3%
03 その他の接客	15	18	-3	-16.7%
14 接客娯楽	63	47	16	34.0%
15 清掃・と畜	29 (1)	48 (1)	-19 (1)	-39.6%
16 官公署	4	1	3	300.0%
17 その他の事業	21	27	-6	-22.2%
合 計	633 (1)	701 (4)	-68 (-3)	-9.7%

※ 各欄左側の数字は休業4日以上の災害件数、右側( )内は死亡災害件数(内数)  
※ 新型コロナウイルス感染症を除いた件数

相模原労働基準監督署 組織図 (役職者のみ)

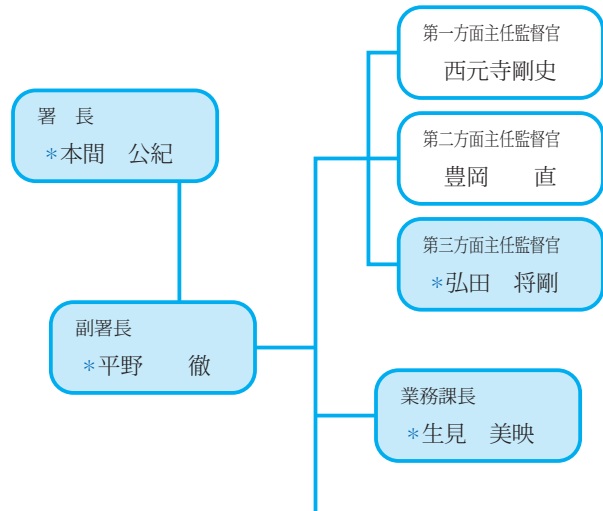
令和8年4月1日から体制が変わりました。

氏名の前に\*印:新任

《第一方面、第二方面、第三方面》

《担当業務》

働き方改革関連法に関する事、就業規則・適用事業報告・36協定届、賃金・解雇等労働条件に関する相談・申告、外国人労働者・パートタイム労働者等の相談等、事業場に対する監督指導に関する事。



《安全衛生課》

《担当業務》

労働者死傷病報告・機械等設置届・建設工事計画届・各種健康診断結果報告書等の諸届、労働安全衛生法等関係法令に関する事。

安全衛生課長  
霜出 和之

《労災課》

《担当業務》

労働保険の加入・変更手続・労働保険料の納入、労災保険の各種請求、労災年金及び第三者行為災害の受付・相談に関する事。

労災課長  
田中 信志

会社を取り巻く環境測定のお手伝い

- ◎作業環境測定 ◎排ガス測定
- ◎空気中の溶接ヒューム(マンガン)濃度測定
- ◎定量的フィットテスト
- ◎水質・大気・騒音・振動・臭気測定
- ◎土壌調査等
- ◎排気装置点検代行業務
- ◎その他、各種分析測定

作業環境測定 機関登録 第14-45号  
計量証明事業登録 濃度32号・音圧レベル第4号  
振動加速度レベル第17号  
土壌汚染状況調査 指定調査機関  
建築物空気環境測定事業登録

名称: MHIファシリティサービス(株)  
首都圏工場サービス部 相模原環境G

〒252-5293 相模原市中央区田名3000(三菱重工(株)内)  
TEL 042-762-1035 FAX 042-762-7740



# 新役員体制を決定 令和8年度支部定時総会

4月22日(水)15:30より市民会館第1大会議室にて、令和8年度相模原支部定時総会を開催しました。

副支部長の三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株)の浮ヶ谷氏による開会挨拶に続き、議長にスリーエムジャパンイノベーション(株)相模原事業所の若杉氏、書記にアイダエンジニアリング(株)の川池氏を選出し議事に入りました。

松島事務局長より令和7年度事業報告、収支決算報告『正味財産増減決算』報告を行った後、会計監査報告は、監査団を代表し、日産自動車(株)の加藤氏より会計監査報告が行われ、報告された全議案が満場一致で承認されました。

引き続き松島事務局長より令和8年度事業計画(案)、令和8年度正味財産増減予算(案)が一括提案さ

れ、こちらについても満場一致で承認されました。

次に、議長の若杉氏より令和8・9年度支部役員(案)が一括提案され、満場一致で承認されました。

書記・議長解任後、相模原支部役員を代表して、宮崎支部長より退任の挨拶をいただき、続いて新役員を代表してスリーエムジャパンイノベーション(株)相模原事業所の青木新支部長、神奈川県労働安全衛生協会を代表して法元常務理事よりご挨拶をいただきました。

また、来賓を代表し、相模原労働基準監督署の本間署長からご祝辞を賜り、定時総会は滞りなく終了いたしました。

(広報部会 川池 記)

## 支部長就任挨拶



スリーエムジャパン  
イノベーション株式会社

青木 亨

令和8年度定時総会におきまして、会員事業場の皆様のご承認を賜り、このたび支部長をお引き受けすることとなりました。微力ではございますが、当支部の発展と地域における労働安全衛生活動の推進に尽力してまいり所存でございます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

また、令和6年から支部長を務めてこられました東プレ株式会社の宮崎様におかれましては、大きく変化する社会情勢や労働環境の中、多くの事業活動を着実に推進され、当支部の発展に多大なるご貢献をいただきましたことに、心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、近年は、国際情勢の不安定化や物価上昇、働き方改革の進展、人手不足、高齢労働者の増加など、事業場を取り巻く環境が大きく変化しております。加えて、労働災害防止、メンタルヘルス対策、熱中症予防、化学物質管理など、安全衛生に対する社会的要請も一層高まっております。こうした中、事業の継続と働く人々の安全・健康の確保を両立していくことが、これまで以上に重要となっております。

当支部といたしましても、地域の実情に即した労働安全衛生活動を着実に推進し、会員事業場の皆様にとって有意義な情報提供と支援に努めてまいります。引き続き、相模原労働基準監督署様のご指導を賜りますとともに、会員事業場の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

## 支部長退任挨拶



東プレ株式会社 相模原事業所  
宮崎 英樹

令和6年度の定時総会にて会員事業場の皆様のご承認を頂き支部長を2年間無事に務めることができ、この度、任期満了を迎えることとなりました。

在任中は相模原労働基準監督署の皆様、神奈川県労働安全衛生協会本部の皆様、そして相模原支部役員並びに事務局の皆様にご多大なるご支援を頂きましたこと、改めて感謝申し上げますと共に、会員事業場の皆様のご理解とご協力に心より御礼申し上げます。

私たち相模原支部としましても、各部会での積極的な取組み、計画した事業を着実に実行することが重要と考え、会員事業場の皆様のご理解とご協力を頂きながら進めることができました。

2026年は第14次労働災害防止計画の4年目となりますが、滞りなく各事業計画を推進できたことで、相模原管内では死亡災害が減少するなど、改めて職場の労働安全衛生の取組みの重要性が際立ってきていると感じております。

今後も、新支部長になられますスリーエムジャパンイノベーション株式会社 青木様及び新役員体制の下、支部会員事業場の皆様と共に労働災害のない安全で健康な職場環境の構築を目指し、積極的な活動を推進頂くことを祈念致しまして、私からの退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 令和8・9年度相模原支部役員体制

令和8年4月22日

部	役職名	事業場名
広報部 7	支部長	スリーエムジャパンイノベーション(株) 相模原事業所
	支部長代行	
	副支部長	三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株)
	広報部長	アイダエンジニアリング(株)
	副広報部長	大和製罐(株) 東京工場
	委員	カヤバ(株) 相模工場
	〃	日産自動車(株) 相模原部品センター
労務部 4	会計監査	東ブレ(株) 相模原事業所
	労務部長	日本山村硝子(株) 東京工場
	副労務部長	(株)昭 and 真空
	委員	日本電気(株) 相模原事業場
安全部 4	会計監査	日本板硝子(株) 相模原事業所
	安全部長	SWCC(株) 相模原事業所
	副安全部長	(株)サンコーシヤ 相模テクノセンター
	委員	(株)ニフコ
衛生部 4	会計監査	城山工業(株)
	衛生部長	北里研究所北里大学病院
	副衛生部長	MHI ファシリティーサービス(株)
	委員	(株)オハラ
	会計監査	三菱電機(株) 鎌倉製作所 相模事務所

## 広報部長

アイダエンジニアリング株式会社  
管理本部 人事総務部  
安全環境課  
渉外・安全教育グループ  
グループリーダー



川池 信男

本年度より広報部長に就任することになりました。

会員事業場の皆様のお役に立てるよう、相模原労働基準監督署及び各部会との連携を図り、広報活動推進に取り組んで参りますので、よろしくお願ひいたします。

## 労務部長

日本山村硝子株式会社  
東京工場 総務課長



平野 昌明

本年度より労務部長に就任することになりました。会員皆様のご指導・ご支援を頂き、皆様と力を合わせ、各部会と連携を図り取り組んで参りたいと思います。微力ながら皆様のお役に立てるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 安全部長

SWCC株式会社 相模原事業所  
安全衛生グループ



石井 直樹

本年度より安全部部長を拝命いたしました、SWCC株式会社 相模原事業所の石井と申します。会員各位のご指導、ご支援を頂き、各部会との連携を図りながら「安全はすべてに優先する」という基本理念のもと、災害ゼロに向けた取り組みを推進すべく、取り組んで参りますので、何卒よろしくお願ひいたします。

## 衛生部長

学校法人北里研究所  
北里大学病院  
事務部人事課 高橋 慶子



本年度より衛生部長に就任することになりました。不慣れではありますが、会員各位のご指導を頂きながら、労働衛生管理活動に取り組んで参りたいと思いますので、お力添えのほどよろしくお願ひいたします。

## 当面の事業予定

- ☆第1回粉じん作業特別教育講習会  
6月1日(月) 9:20～ 会場：市民会館 講習室
- ☆全国安全週間相模原地区推進大会  
6月5日(金) 14:00～ 会場：市民会館 ホール
- ☆第1回リスクアセスメント講習会  
6月11日(木) 9:20～ 会場：市民会館 講習室
- ☆第1回保護具着用管理責任者選任時研修会  
6月17日(水) 9:20～ 会場：市民会館 第2大会議室
- ☆第2回熱中症予防管理者研修会  
6月17日(金) 13:00～ 会場：市民会館 第2大会議室
- ☆第2回安全管理者選任時研修会  
6月25日(木) 9:20～ 会場：市民会館 講習室
- ☆第1回職長の能力向上教育講習会  
6月29日(月) 9:20～ 会場：市民会館 講習室
- ☆第1回危険予知訓練リーダー養成講習会  
7月2日(木) 9:20～ 会場：市民会館 講習室
- ☆第1回有機溶剤業務従事者労働衛生教育講習会  
7月7日(火) 9:20～ 会場：市民会館 講習室
- ☆労働関係法令等説明会  
7月16日(木) 14:30～ 会場：市民会館 第2大会議室
- ☆第2回職長教育講習会  
7月22日(水)、23日(木) 9:20～  
会場：市民会館 第2大会議室
- ☆第1回衛生推進者養成講習会  
8月6日(木) 9:20～ 会場：市民会館 第2大会議室
- ☆第2回化学物質管理者研修会  
8月19日(水) 9:20～ 会場：市民会館 第2大会議室
- ☆第3回安全管理者選任時研修  
8月27日(木) 9:20～ 会場：市民会館 講習室
- ☆全国労働衛生週間相模原地区推進大会  
9月4日(金) 14:00～ 会場：市民会館 ホール



## 編集後記

労務安全衛生協会相模原支部で粉じんの特別教育と有機溶剤の従事者教育を担当するようになって約20年になるだろうか、この特別教育、従事者教育はこれからその有害物質を取り扱う作業員一人一人が受ける教育である。私が引き継いだ当初は受講者が40名前後集まり、比較的大きめの会議室を借りて行っていたように覚えている。もちろんこの教育は外部団体の教育機関で受けなくても企業内教育で実施して構わないことから、年々参加者が減少し最近では10名に満たないこともあり、こじんまりとした会議室で行っている。時代の流れか企業側の費用削減もあるのかもしれない。

私がこの教育を始めて強く感じたことは、教育は本当に大事だということである。また、教育は一度行えばよいのではなく、繰り返し行う必要があると感じている。多くの労働災害を見ると有害性を知らずで正しい取り扱いをすれば、防げた災害が数多く見受けられるからである。作業員だけでなく指導する管理者にも受けてもらいたいものである。

この教育を始めるきっかけになったのは、作業環境測定士として多くの作業現場に出向いている経験からであるが、最近では保護具のフィットテストも併せて実施している。そのフィットテストでも正しい着用の仕方ができてない作業員が意外に多いことである。

化学物質は自律的管理に移行し、企業側の判断で管理していただくに事業所の化学物質管理者、保護具着用管理責任者の責任は重いことを認識してもらいたい。

(衛生部会 竹内 記)

## 《健活チャレンジ表彰》

2月12日に健活チャレンジ優秀賞をアイダエンジニアリング(株)様と、(株)オハラ様が受賞されました。

# 相模原地域産業保健センター

～地域産業保健事業～

地域産業保健センターでは、労働者数50人未満の小規模事業場の事業者やそこで働く人を対象として、労働安全衛生法で定められた保健指導などの産業保健サービスを無料で提供しています。ぜひ、ご活用ください。

＜小規模事業場向けサービスの内容＞

**支援は全て無料です！**

- 労働者の健康管理（メンタルヘルスを含む）に係る相談
- 健康診断の結果についての医師からの意見聴取
- 長時間労働者及びストレスチェックに係る高ストレス者に対する面接指導
- 個別訪問による産業保健指導の実施

詳しくは、ホームページをご覧ください (<http://www.kanagawas.johas.go.jp/>) **神奈川産保** で検索

相模原地域産業保健センター  
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3  
商工会館新館4階  
Tel 042-707-4225 Fax 042-707-4227  
E-mail : sagamiharasanpo@gmail.com

神奈川産業保健総合支援センター  
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-29-1  
第6安田ビル3階  
Tel 045-410-1160 Fax 045-410-1161

独立行政法人  
**労働者健康安全機構**

